

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部



令和六年一月度 入賞句一覧

投句数 六百三句

特選

大西 誠一 選

小さき箸つるりと逃げるおでん鍋

大垣市 傍島 隆

箸からつるりと逃げるおでんは、卵かこんにやくか色々想像できて楽しいです。孫か曾孫か、男の子か女の子か。夕食の人数は最低五、六人、多ければ十人近くになります。たった十七音で表現できる俳句。そこで鑑賞できる事がこれほど多い作品は世の中にないと思います。今回もまた楽しく選句させていただき感謝します。

歌姫の訃報を知るや松の内

大垣市 富田 洋子

二〇二四年は、年明け早々能登輪島の地震、それに続いて羽田空港での事故、そして歌姫八代亜紀の訃報と、悲しい出来事が相次ぎました。八代亜紀は、若い頃夜の酒場で歌ったり、デコトラドライバールのマドンナとして人気を博したりと、華やかなイメージをもつ女性歌手でした。しかし、実際は努力家で、多芸でもあり、プロの画家として活躍されていたことも御存知かと思えます。天国でも演歌を熱唱し絵を描き続けていることでしょうか。

たとふれば冬の日溜まり笠智衆

愛知県豊田市 城山 悠水

私の大好きな作品にフーテンの寅さんこと、渥美清の『男はつらいよ』シリーズがあります。その作品で、脇役として寅さんを支えたのが笠智衆でした。今は亡き二人ですが、冬の日溜まりで、仲よく演技される声が、今でも聞こえてきそうな気がします。

秀逸

叶えたやせめて休戦クリスマス

大垣市 井沢 美志津

冬の蚊の埃の如く天井に

不破郡垂井町 竹嶋 富美子

畦道や踏むな踏むなと蝗跳ぶ

大垣市 長澤 和子

女房殿忘年会の下見です

岐阜市 船渡 恵

双六のなつかしきかな今昔

大垣市 宇津 香代子

ふんわりと冬毛の猫を膝に抱く

大垣市 香田 末代

おさげ髪着れば懐かしちゃんちゃんこ

大垣市 岡田 博志

侘び助や写真の色はセピア色

宮城県仙台市 宮本 雪幽

熱爛や話し上手に聞き上手

三重県四日市市 後藤 允孝

定年のない野良着着て熟柿もぐ

愛媛県松山市 平野 ヒサエ

入選

あきうらら庭を横切るよその猫

大垣市

立木 絹代

母と娘の思ひ出話夜半の冬

大垣市

立川 昌子

初雪で山頂白く伊吹山

不破郡垂井町

中嶋 結映

ままならぬ暮しでありぬ福寿草

東京都北区

菱沼 多美子

鮫鱗の顔に似合わぬ潔さ

本巢市

土川 楽人

読経の席赤子泣きたる石露の花

養老郡養老町

佐藤 咲楽

一刀彫の竜のまなこに初茜

大垣市

村田 通夫

中仙道菰卷すみし曲り松

大垣市

白井 秀子

仕舞湯の袖に爪たて香りなほ

大垣市

宮脇 和子

湖東三山紅葉求めて分け入りぬ

愛知県名古屋市

松岡 典子

背中迄届く手欲しや着ぶくれて

愛知県北名古屋市

和田 祐子

初泣きを抱きしめている若きママ

不破郡垂井町

北村 廣美

初糶の濁声ひびくテレニユース

安八郡神戸町

早津 郁男

せりなづな次は何だと夫が問ふ

大垣市

村井 娑婆

もの言わずひそかに紅き寒椿

大垣市

近藤 富二子

日と風の恵みを秘めて吊し柿

兵庫県加古川市

戸田 みつよ

崩れたる羅漢の顔や帰り花

東京都足立区

山崎 董久

古老来て席の納まる神楽かな

福岡県福岡市

大津 英世

先輩にカーブの握り乞う霜夜

広島県福山市

中常 かつたろー。

なかよしの夫婦のかたちポインセチア

埼玉県さいたま市

澤田 紫

一般の部

選者吟

我も又芥の一つ寒銀河

誠 一

